



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月14日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,681	19.3	107	117.9	121	92.4	98	60.2
2018年3月期第2四半期	2,246	6.6	49		62	212.4	61	221.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 95百万円 (7.2%) 2018年3月期第2四半期 89百万円 (259.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	126.82	
2018年3月期第2四半期	79.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,304	2,259	42.6
2018年3月期	5,252	2,183	41.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,259百万円 2018年3月期 2,183百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		25.00	25.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	13.4	230	115.2	250	95.4	200	83.8	258.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	784,300 株	2018年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	10,376 株	2018年3月期	10,285 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	773,973 株	2018年3月期2Q	774,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、人手不足への対応など生産性向上のために企業の設備投資の増加基調が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、米国の保護主義的な通商政策の動向、中東情勢の地政学リスク、米国の金利上昇等によって世界経済の減速や国内で大規模自然災害が相次など日本経済に与える影響に十分留意する必要があります。

こうした経済情勢の中で、当社グループは国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対処できる体制の整備・充実を図るとともに、新製品、新技術の開発による新規顧客の獲得や競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、需要の掘り起こしに注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は3,023百万円（前年同期比12.3%増）、売上高は2,681百万円（前年同期比19.3%増）となりました。損益については、営業利益107百万円（前年同期比117.9%増）、経常利益121百万円（前年同期比92.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円（前年同期比60.2%増）となりました。

今後におきましては、景気へのリスク要因である貿易摩擦問題、11月のトランプ政権初の中選挙の行方など株式や為替への不安要素が多い状況であります。設備投資の回復や老朽化した設備の更新投資等がプラスに作用することが期待でき、積極的な提案営業により受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

#### (電源機器)

電源機器につきましては、二次電池、アルミ建材等の業界を中心に自動車関連、電子業界等でも様々な仕様にお応えし、受注の確保に取り組んでまいりました。また、汎用電源では、通信機能搭載により多台数の注文にもお応えできるよう取り組んでまいりました。その結果、受注高は829百万円（前年同期比3.6%減）、売上高は1,019百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

今後につきましては、高効率の電力変換を実現した新型直流電源装置の市場への投入及び通信機能搭載機のラインアップ拡充に取り組み、多様な市場のニーズに応えるべく、電源機器のシェア拡大を目指してまいります。

#### (表面処理装置)

表面処理装置につきましては、国内の既存設備の更新需要の掘り起こしと稼働中の装置の改造や修理メンテナンス案件に対して積極的に取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,244百万円（前年同期比31.2%増）、売上高は886百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

今後につきましては、積極的な技術提案により新規・更新需要の掘り起こしと、IoT技術を活用した予防保全のシステムであるCCCS-M（中央コンピュータコントロールシステムーメンテナンスの商品名）の提案を推進し、受注・売上の確保に鋭意努めてまいります。

#### (電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内自動車関連業界、鋼製家具業界など内需型産業における需要の掘り起こしに注力し、新規設備投資・増産需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外につきましては海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりました。その結果、受注高は463百万円（前年同期比4.7%増）、売上高は454百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

今後につきましては、新型溶接電流計をはじめとする新商品の市場投入に注力し、国内外を問わず市場の開拓に努めてまいります。

#### (環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は105百万円（前年同期比24.4%減）、売上高は133百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

今後につきましては、更なるコストダウンの取り組みとともに海外市場における液管理装置や超音波洗浄器の販路開拓に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し4,255百万円となりました。これは、主として現金及び預金が119百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が70百万円、前渡金等の増加によりその他が58百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し1,048百万円となりました。これは、主として有形・無形固定資産が23百万円増加したものの、退職給付に係る資産の減少等により投資その他の資産が30百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し5,304百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し2,507百万円となりました。これは、主として前受金等の減少によりその他が34百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が55百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し537百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が40百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し3,045百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し2,259百万円となりました。これは、主として利益剰余金が78百万円増加したこと等によります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首時点に比べて119百万円減少し1,249百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は74百万円(前年同四半期は249百万円の増加)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益120百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額71百万円、その他114百万円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は24百万円(前年同四半期は7百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出20百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は19百万円(前年同四半期は30百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額19百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2018年9月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,519,069	1,399,721
受取手形及び売掛金	1,243,156	1,313,848
電子記録債権	467,309	467,645
商品及び製品	58,460	72,611
仕掛品	762,544	792,229
原材料及び貯蔵品	96,925	102,367
その他	49,606	107,897
貸倒引当金	△700	△500
流動資産合計	4,196,371	4,255,821
固定資産		
有形固定資産	278,568	285,235
無形固定資産	5,539	22,399
投資その他の資産	772,006	741,105
固定資産合計	1,056,114	1,048,739
資産合計	5,252,486	5,304,560
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,720	1,322,656
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	27,308	13,988
その他	465,437	431,318
流動負債合計	2,499,467	2,507,963
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,500	108,500
退職給付に係る負債	374,460	333,463
その他	78,895	95,081
固定負債合計	569,855	537,045
負債合計	3,069,323	3,045,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,235,103	1,313,906
自己株式	△15,349	△15,476
株主資本合計	1,948,339	2,027,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,355	224,988
為替換算調整勘定	8,468	7,548
その他の包括利益累計額合計	234,823	232,536
純資産合計	2,183,163	2,259,552
負債純資産合計	5,252,486	5,304,560

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	2,246,646	2,681,261
売上原価	1,677,230	2,043,933
売上総利益	569,416	637,327
販売費及び一般管理費	520,312	530,316
営業利益	49,103	107,011
営業外収益		
受取利息	272	238
受取配当金	4,178	4,732
持分法による投資利益	10,776	7,226
為替差益	—	866
その他	1,746	4,372
営業外収益合計	16,974	17,435
営業外費用		
支払利息	2,790	2,844
為替差損	102	—
その他	208	409
営業外費用合計	3,101	3,254
経常利益	62,976	121,193
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産処分損	164	880
特別損失合計	164	880
税金等調整前四半期純利益	62,822	120,313
法人税、住民税及び事業税	1,539	5,371
法人税等調整額	—	16,788
法人税等合計	1,539	22,160
四半期純利益	61,283	98,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,283	98,152

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	61,283	98,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,771	△1,366
為替換算調整勘定	△632	△920
その他の包括利益合計	28,139	△2,287
四半期包括利益	89,422	95,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,422	95,865
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,822	120,313
減価償却費	20,687	20,784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△174	△324
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△48,123	36,414
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40,391	△40,996
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,300	△8,000
受取利息及び受取配当金	△4,450	△4,971
支払利息	2,790	2,844
持分法による投資損益(△は益)	△10,776	△7,226
固定資産処分損益(△は益)	154	880
売上債権の増減額(△は増加)	76,524	△71,106
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39,114	△49,600
仕入債務の増減額(△は減少)	72,832	56,224
その他	149,070	△114,169
小計	250,151	△58,934
利息及び配当金の受取額	4,450	4,971
利息の支払額	△2,838	△2,923
法人税等の支払額	△1,932	△17,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,831	△74,884
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,448	△20,583
有形固定資産の売却による収入	10	200
無形固定資産の取得による支出	—	△4,000
投資有価証券の取得による支出	△121	△125
その他	423	△373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,135	△24,881
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△30,078	△19,432
その他	△330	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,409	△19,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	△463	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	211,823	△119,348
現金及び現金同等物の期首残高	1,186,298	1,369,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,121	1,249,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

## 3. その他

生産、受注及び販売の状況(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	993,969	28.7
表面処理装置	866,949	12.8
電気溶接機	511,838	16.9
環境機器	111,811	△17.1
その他	247,976	8.0
合計	2,732,545	16.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	829,430	△3.6	508,461	△7.2
表面処理装置	1,244,806	31.2	1,102,297	29.1
電気溶接機	463,085	4.7	208,967	59.3
環境機器	105,618	△24.4	18,660	△65.7
その他	380,882	26.5	365,058	70.9
合計	3,023,823	12.3	2,203,444	22.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	1,019,906	39.0
表面処理装置	886,655	22.8
電気溶接機	454,986	△12.4
環境機器	133,529	9.4
その他	186,183	24.5
合計	2,681,261	19.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。